

# 令和6年度青少年のネット利用実態調査結果(概要)

## 1 調査の概要

調査対象：県内の小学校(2年生、5年生)、中学校(2年生)、高等学校(1年生)の児童生徒約1,500人とその保護者、計約3,000人

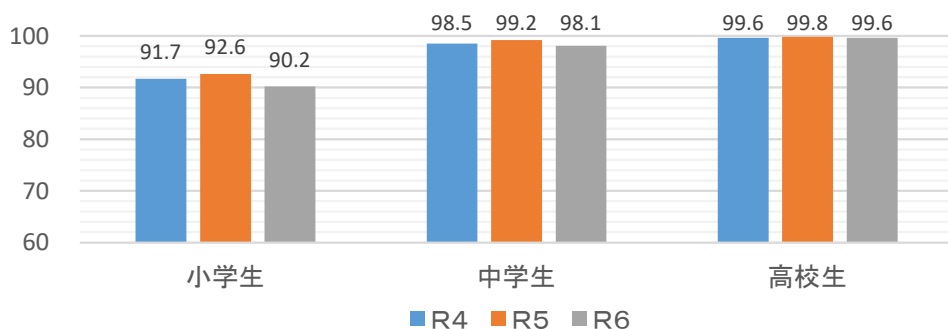
調査方法：対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票を作成してWeb及び紙面による調査を行った。

調査時期：令和6年9月

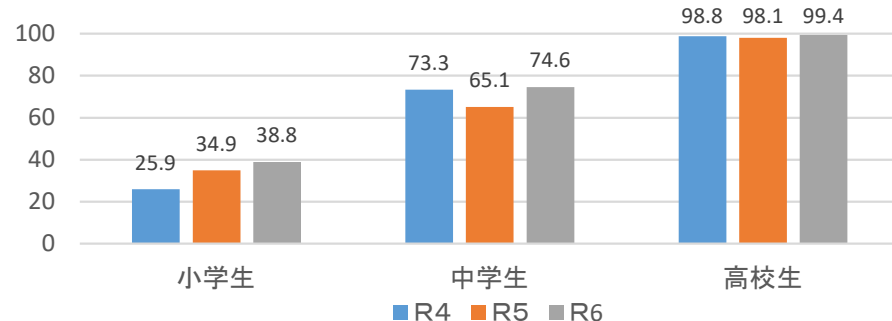
調査内容：①インターネットを利用する機器、内容、環境 ②インターネット利用による生活の変化 ③インターネット利用時のトラブル等と相談  
④フィルタリングの利用状況と家庭のルール ⑤保護者自身のインターネット利用に関すること

## 2 インターネット利用の全年齢化・長時間化

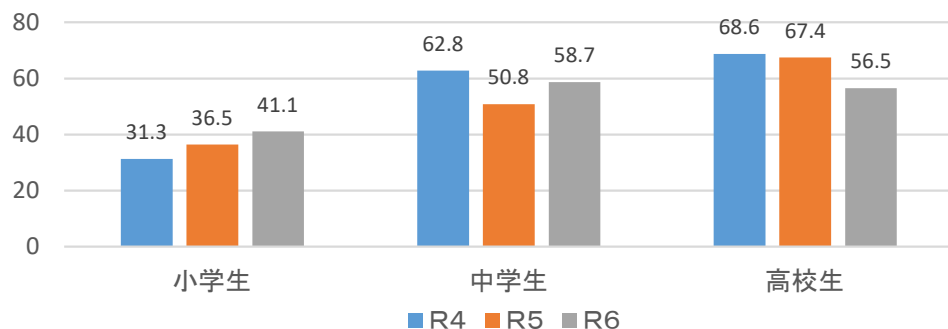
【青少年のインターネット利用率(子ども回答)】



【スマートフォン(自分専用)の所持率(子ども回答)】



【平日の利用時間が2時間以上の割合(子ども回答)】



- ・小学生の90%、中学生・高校生のほぼ全員がインターネットを利用しており、全年齢でインターネットが利用されている
- ・小学生のスマートフォン(自分専用)所持率が約40%と増加し、年々増加傾向にある
- ・前年度と比較して、平日の利用時間が2時間以上の割合は、小学生・中学生は増加、高校生は減少している
- ・依然として中学生と高校生の半数以上が2時間以上インターネットを利用している
- ・小学生の利用時間が年々増加傾向にある

## 3 自撮り被害の状況

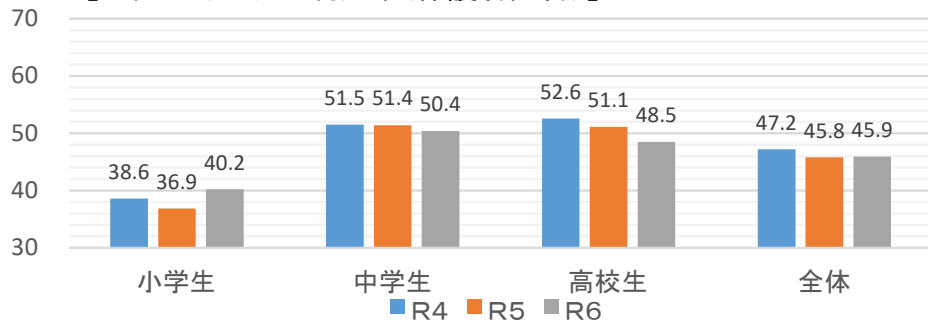
【裸や下着のやりとりの経験(子ども回答)】

	中学生	高校生	計
送ったことがある	0人	6人	6人
写真を要求されたが送っていない	15人	11人	26人

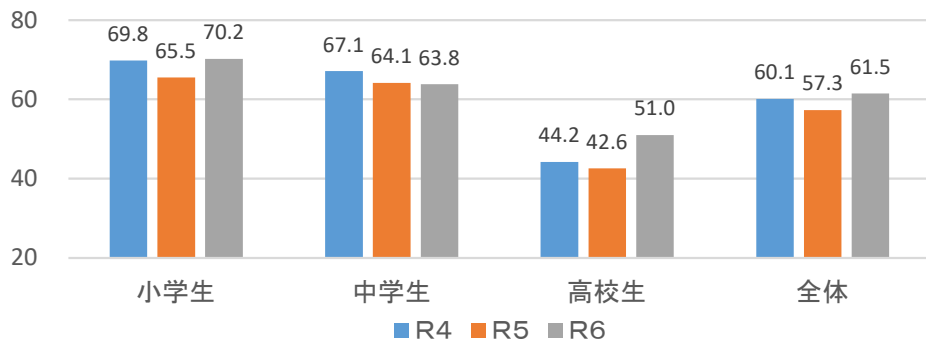
- ・「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、高校生の6人と答えた。(R5年度、中学生0人・高校生2人(子ども回答))
- ・「写真を要求されたことはあるが送っていない」と回答したのは、中学生15人、高校生11人(R5年度：中学生14人、高校生21人)であり、中学生が増加傾向にある。

## 4 フィルタリングの利用状況及び家庭のルールの有無

【フィルタリングの利用率(保護者回答)】

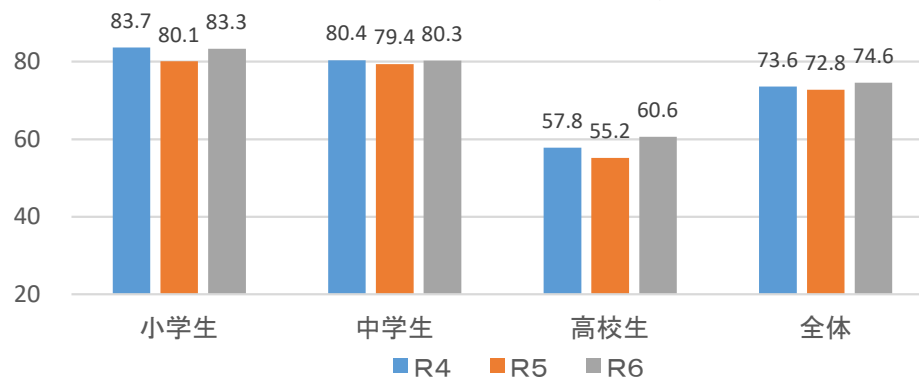


【ルールがあると回答した割合(子ども回答)】



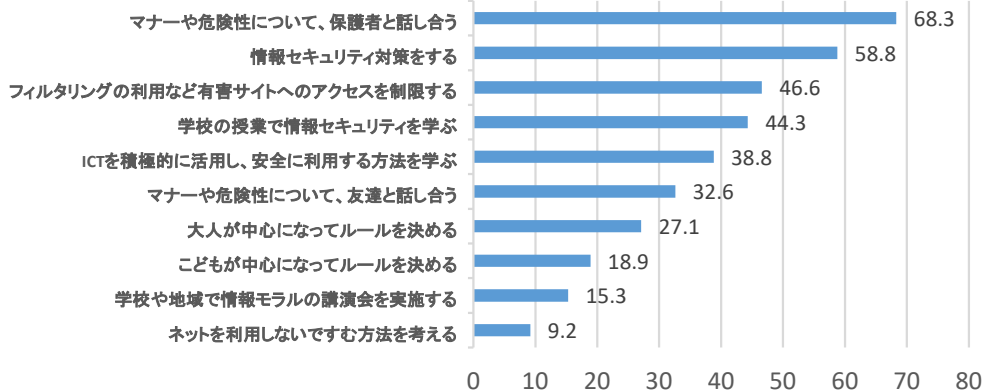
- ・フィルタリングの利用率は、全体で45.9%となっており、横ばいとなっている。
- ・家庭のルールの有無については、小学生、高校生、保護者が増加となっており、全体としても増加している。
- ・家庭のルールの有無について、子どもと保護者に認識の差があり、保護者の方がルールがあると回答した割合が高い。

【ルールがあると回答した割合(保護者回答)】



## 5 ネットの安全・安心利用のため必要なこと

「ネットの安全・安心利用のために必要だと思うこと」に対して、子ども・保護者ともに「マナーや危険性について保護者と話し合う」が一番多く回答(68.3%)している。(※下図は子ども回答)



## 6 調査結果を受けて

- ・インターネット利用の全年齢化が進み、低年齢の子どもたちにネット利用の長時間化が見受けられます。
- ・保護者の方は、子どもたちが有害情報に触れる機会をなくすため、**フィルタリングの利用**や、子どもたちの成長や利用状況に応じた**ペアレンタルコントロール**をしましょう。
- ・子どもは「ネットの危険性について保護者と話し合う」ことが必要であると考えています。  
保護者と子どもたちが**話し合い**、「**家庭のルール**」をつくりましょう。

大分県のHPIに、安全安心にスマホやネットを使うための情報を掲載していますので、一度ご確認ください ⇒

